

令和3年 第6回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和3年4月15日

仙北市教育委員会

令和3年 第6回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和3年4月15日(木) 午後2時

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	藤原 眞栄
教育次長兼学校教育課長	鈴木 徹
教育総務課長	湯澤 満
学校教育課参事	田口 真吾
北浦教育文化研究所長	伊藤 昭光
総合給食センター所長	草薨 直子
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高橋 良宣
田沢湖公民館長	真崎 智明
角館公民館長	千葉 正
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	松橋 幸太郎
平福記念美術館長	小松 亜希子

5 議事

(1) 報告事項

報告第11号 仙北市立学校安全衛生管理規程制定について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和3年第6回仙北市教育委員会4月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤係長と泉主事を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後に橋本委員からいただきます。

(須田教育長)

私の挨拶ですが、はじめに挨拶というよりは委員の皆様へのお願いということであります。自分が教育長になったときに、「誰よりも仙北市の子どもを愛し、学校と教職員を大切

にする」と誓いました。また、生涯学習でいえば、市民に上質な文化を提供したいと誓いました。仙北市の教育を推進するには、教育委員会事務局だけでできるものではありません。部局の支援もいただきながら進めていくつもりですが、委員の皆様におかれましても、熊谷教育長時代同様、ご支援のほどよろしく願いいたします。

次に、4月1日に教育委員会関係職員に話した内容を報告させていただきます。3点話をしました。

1点目が、「健康第一」ということです。よい仕事をするには、心身健康でなければよい仕事はできません。大きな病気になる前に受診するなり休んでほしいと伝えました。組織ですから、一人かけてもなんとかできます。しかし、家族にとっては唯一無二の存在であるという話をしました。

2点目が、「チーム仙北市教育委員会」ということです。熊谷教育長の功績はたくさんありますが、私が絶対引き継ぎたいことが、この「チーム仙北市教育委員会」という理念と組織です。先月の退職の会でも、多くの退職者が「家族のような組織であった。自分が家庭のことで大変だったときも助けられた。」と話しておられました。当然、大きな行事を行うときも、また、有事の際にも「チーム仙北市教育委員会」という姿勢で頑張ろうと話しました。

3点目が、「現場第一主義」ということです。学校からも、市民からもたくさんの要望が来ると思われます。しかし、人員も削減されていますし、予算も削減されております。できないことの方が多いいと思います。しかし、電話でできませんではなく、まず、現場に向き知恵を出し合ってほしい、誠実な仕事をしようと話しました。

次に校長会と学校を回って教職員に話していることを報告します。

職員の健康については、同じですが、どのような児童、生徒を育ててほしいかということで、2つの言葉をキーワードにして先生方に話をしております。一つ目が、「骨太の人間の育成」です。私たちが若いときには、6人から8人で社会を支えていたわけですが、今の子どもたちが大人になったときには、仙北市においては、3人か2.5人で支えていかなければなりません。だからこそ、骨太で根っここの太い人間を育ててほしいとお願いしました。骨太の人間を育てるとは、具体的にいえば、今まで私たちが進めてきた「知徳体のバランスのとれた子どもを育てることだ」と説明しています。もう一つのキーワードが、「仙北市プライドの醸成」ということです。仙北市に生まれてよかった、仙北市を支えていこうとする子どもをたくさん育ててほしいと訴えています。たとえ、都会に出て行っても、根っここの部分でつながっている子どもを育ててほしいということを話しています。

そして、最後に教師の姿勢として「子どもの心に灯をともし教師」になってほしいと話しています。自分に大きな影響を与えた先生方は、自分の子どもが大好きであった先生方は、どのような先生方であったか、それは、自分たちに真摯に向き合い自分のよさを伸ばしてくれた先生方ではなかったかと訴えております。

以上、長くなりましたが、先ほどもお願いしましたが、委員の皆様には、今年度もご指導、ご支援のほどよろしく願いいたします。

(須田教育長)

次に4月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(須田教育長)

4月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

それでは、議事に入ります。今回、議案はありません。1件報告があります。

報告第11号仙北市立学校安全衛生管理規程制定について説明を求めます。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

では、私の方から報告させていただきます。まず、5ページをご覧ください。仙北市立学校安全衛生管理規程の概要ということで、載せさせていただきます。趣旨としましては、仙北市内の小学校及び中学校に勤務する県費負担教職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成促進及び長時間労働等による健康障害防止について意見を踏まえた対策を推進するため、仙北市立学校安全衛生管理規程を制定し、仙北市内の小学校及び中学校をすべてまとめて一つの事業場として捉え、衛生委員会を立ち上げることにしたものです。

体制としまして、衛生委員会を下の図のように設けることとなります。委員長を教育部長にお願いしまして、委員を衛生管理者、産業医、それから教職員等で教育長が指名した者、そして事務局として学校教育課が行っていきます。

なお、衛生推進者として、各学校の校長等をお願いをしております。役割は、その通りです。以上のもとに、2ページから4ページにおきまして、仙北市立学校安全衛生管理規程をこのように制定しますので、報告いたします。

(須田教育長)

報告第11号について、質問はありませんか。

(橋本委員)

ちょっと質問が的外れかもしれませんが、長時間労働による健康障害防止ということで、学校の先生方はいろいろと改善に取り組んでいると思いますけれども、こちらの衛生委員会等で十分そういったことを工夫していただいて、いくらかでも改善につながるようにしていただければと思います。

(須田教育長)

次長、よろしいでしょうか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

ぜひ、この意見をもとにして、衛生委員会の方で、また検討したいと思います。ありがとうございます。

(須田教育長)

そのほか、ありますか。

—質問なし—

(須田教育長)

次に、その他の時間とします。

はじめに、いじめ、不登校対策についてお願いします。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

3月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。最初に、いじめについてです。小学校5件、中学校1件、計6件の認知件数の報告がありました。

次に、3月の不登校児童生徒について報告いたします。小学生が3名、中学生が12名、計15名となっております。前の月と同じ状況です。以上、3月のいじめ、不登校の状況です。

(須田教育長)

次に、教育委員会定例会会議録ホームページ公開について説明をお願いします。

(湯澤教育総務課長)

令和3年第3回仙北市教育委員会定例会の会議録をご覧ください。

—資料により説明—

誤字や脱字、お気づきの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(須田教育長)

お気づきの点がありましたら、湯澤課長まで連絡していただけたらと思います。そのほかですが、コロナ関連について、鈴木次長お願いします。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

ただいま、大仙保健所管内におきまして、コロナウィルス感染者が増加しております。令和2年度にいろんな形で通知文を出して学校の休業等を指導してきたのですが、今回別紙の形で学校の休業等の考え方について、1ページから2ページにおきましてまとめました。まず、(1)は感染者が発生した場合、(2)は濃厚接触者と判定された場合、(3)は同居する家族が濃厚接触者となった場合、(4)は同居の家族等に発熱等の風邪症状がみられる場合、ということで児童生徒、教職員に関して休業等の考え方を示しました。2ページから4ページにかけては、職員の服務等について県立学校で規定しているものに準ずる形でこちらの方にまとめさせていただきました。5ページでは、この後小学校6年生、中学校3年生が修学旅行を行う予定ですので、それにおきまして、修学旅行実施に係る指針を定めまして、詳しくは6ページにあります。この指針のもとで修学旅行を実施するというところで協議をしていきたいと思っております。以上です。

(須田教育長)

先日、校長会で、小規模校の校長先生方から強い要望がありまして、教育委員会でも仙北市修学旅行対策委員会を立ち上げまして、部長次長も入りまして、そこで校長先生方と協議いたしました。藤原部長が中心となりまして、部局の方をお願いをしてかかり増しの分につきましては、補助をしてもらうということで話がついております。

なにか今の資料、指針等についてお気づきの点がありましたら、お願いします。

－質問なし－

(須田教育長)

県南地区では休校も出ておりまして、いつ仙北市においても感染者が出てくるとも限らないということで、このような指針をまとめたところでありまして。これについては、よろしいでしょうか。

－質問なし－

それでは、委員の皆様、何かそのほかお気づきの点等ありましたら、お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

今後の予定について伺います。例年行われていた「教職員の集い」と「仙教研」に関しては、今年はどうなっているのでしょうか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

延期すると3月に通知を出しています。合わせまして、昨日、仙教研の運営委員会がありまして、4月27日に予定されていた仙教研の春季大会は中止ということになりました。

(坂本教育長職務代理者)

部活動の春季大会はいかがですか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

部活動の中学校の春季大会は、今のところ予定通り4月24、25日に行う予定です。

(須田教育長)

その他、ありますか。よろしいでしょうか。せっかくですので、田口委員、何かありますか。

(田口委員)

別の景色から参加させていただいたのですけれども、日々事務局のご苦勞を理解しながら、この立場で、仙北市民の目線、子ども目線、保護者目線で教育行政の充実に向けて、あるいは、学びの環境、大人も子どもも含めた充実に向けて、何かしら貢献できるように、教育長の支えになるという形で仕事ができればと、辞令をいただいてから、身を引き締め

ているところです。何分、分かりませんので委員の皆様、教育長、あるいは事務局の方々にアドバイスを受けながら仕事を進めたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(須田教育長)

橋本委員、何かありますか。

(橋本委員)

教育長も変わりました、心機一転、教育長を先頭に事務局の皆さんも一生懸命に頑張ってくださいを期待しております。先ほど、教育長からお話あった「チーム仙北市教育委員会」ということで、自分の仕事の範囲を超えても、お互いに皆さん助け合って、仕事をしていただきたいと思います。

(須田教育長)

坂本教育長職務代理人、お願いします。

(坂本教育長職務代理人)

職務代理を拝命いたしましたけれども、まだまだ未熟ですので、教育長をはじめ、委員の皆様、それから事務局の皆様からいろいろ教えていただきながら、自分も学んで参りたいと思います。できる限りのこと、できる以上の力を発揮できるように、今年度も頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(須田教育長)

それでは、以上で令和3年第6回仙北市教育委員会4月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時23分)